

## 【宮古島大会宣言】

### 1 カツオ資源の保全に向けたさらなる協働を図ること

カツオは海洋を広く回遊することから、一地域だけでは資源を保全していくことはできません。そのため、カツオ資源に関わる南方海域から三陸沖合海域までの地域、さらには赤道周辺の諸外国など、広範囲の地域がつながって、資源管理を考える必要があります。ここ宮古島市でも漁業者によるカツオ資源の減少が叫ばれていることから、今後もカツオに関わる全ての者が協働し、資源の保全について継続的に議論と情報の交換・共有を行っていきます。

### 2 カツオ漁業における人材の確保と育成を図ること

カツオ漁業が将来にわたって継続されていくためには、それを営む漁業者がいなければなりません。そのため、漁業後継者及び担い手を地域内にとどまらず、海外を含めた多角的な展開に取り組むことで、その確保に努めていく必要があります。宮古島市の漁業者も戦前・戦後を通じて南方カツオ漁業に携わった経緯もあることから、カツオを通じた国際交流を促進することで、これからカツオ漁業を支えていく若年層の育成に対する基盤づくりを推進していきます。

### 3 カツオが持つ多様性の活用を図ること

カツオは昔から日本人に愛されてきた食材であります。刺身だけでなくタタキ、鰹節、燻製など様々な形態で食されてきた歴史と文化を有しており、まさにカツオが持つ可能性は無限であると言えます。宮古島市においても、カツオ漁業のみにとどまらず、鰹節製造業も存在することから、総合的にカツオ業界を育成していく仕掛けが必要であり、今回のフォーラムを契機として、市民レベルでカツオの良さを見直す取組にも着手しました。これからもカツオにまつわる歴史・文化を広く伝え再評価していくとともに、新たな加工方法・商品開発、観光業を含めた他産業との連携、すなわち6次産業化を念頭にカツオが持つ多様性の活用を図ることで、その価値を高めていきます。

平成24年10月6日

カツオフォーラム in 宮古島